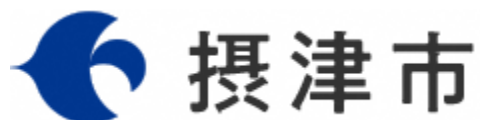


# 鳥飼地区河川防災ステーション事業説明会

- 高台まちづくり -  
- 上部施設整備 -

令和4年4月24日



# 鳥飼地区河川防災ステーションの整備について（高台まちづくり）

- 鳥飼地域は、ほぼ全域が洪水被害想定区域であり、避難所も水没するため、災害時は事前の広域避難を原則
- 高齢者や障害者等の避難行動要支援者の最低限生命と身体を守るための場所の検討が必要

水没しない高台化した避難場所を検討

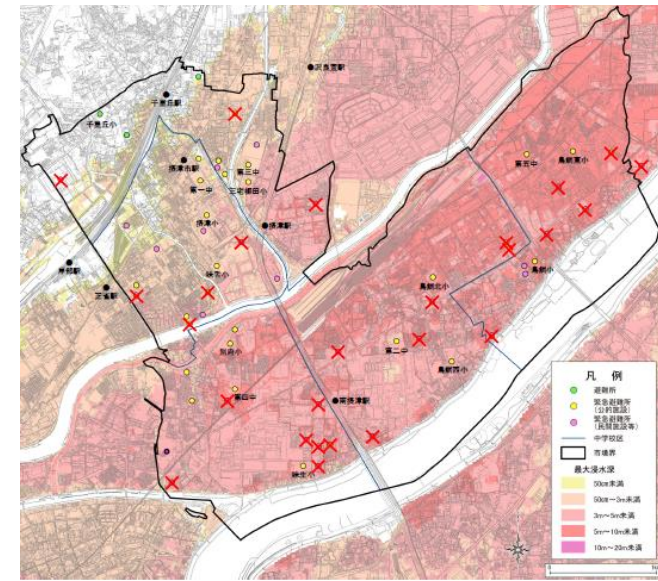
浸水深 \ 確率	1/30年	1/100年	1/200年	想定最大
安威川	(浸水なし)	0.5m~3m	→	3m~5m
淀川	(浸水なし)	(浸水なし)	(浸水なし)	3m~7.3m

○高台まちづくりの対象水深（考え方：案）

安威川L1：計画規模（1/100年） 安威川L2：想定最大浸水深（1/1000年）

淀川L1：計画規模（1/200年） 淀川L2：想定最大浸水深（1/1000年）

ターゲット水深	評価
安威川L1：計画規模 (1/100年) 浸水深 0.5m~3m	現時点での浸水リスクはあるが、大阪府および国のハード整備の進捗により、将来はなくなる。
安威川L2：想定最大浸水 (1/1000年) 浸水深 3m~5m	安威川の計画規模以上の降雨があった場合を想定した最大水深。鳥飼地域（安威川以南）においては、淀川の想定最大浸水深に包含される。想定最大とは現在までのデータから想定した1/1000年程度の降雨確率。気候変動の影響により、その降雨発生確率は高くなる。
淀川L2：想定最大浸水 (1/1000年) 浸水深 3m~7.3m	淀川の計画規模以上の降雨があった場合を想定した最大水深。想定最大とは現在までのデータから想定した1/1000年程度の降雨確率。気候変動の影響により、その降雨発生確率は高くなる。



安威川・淀川の最大浸水想定図の重ね合わせ  
⇒鳥飼地域では、5~10mの浸水が  
最大2週間継続し、避難所も水没

水害リスクに対する摂津市のまちづくりの考え方は、淀川L2（想定最大規模）を意識した高台まちづくりを基本として検討を進めることが必要

# 鳥飼地区河川防災ステーションの整備について（高台まちづくり）

## 高台まちづくりの対策（案）

### 【全地盤上げ】

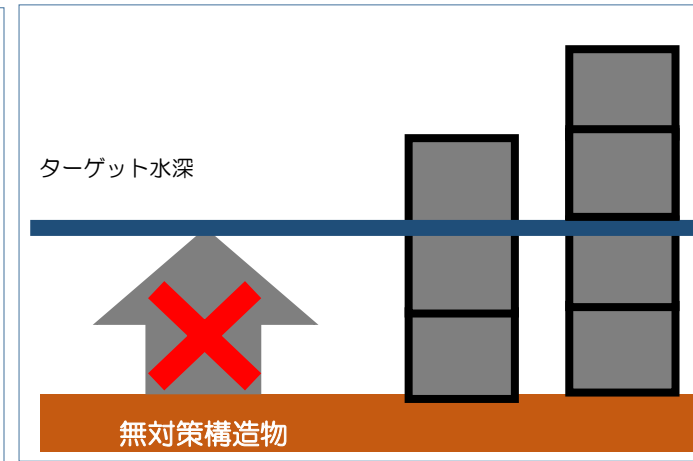
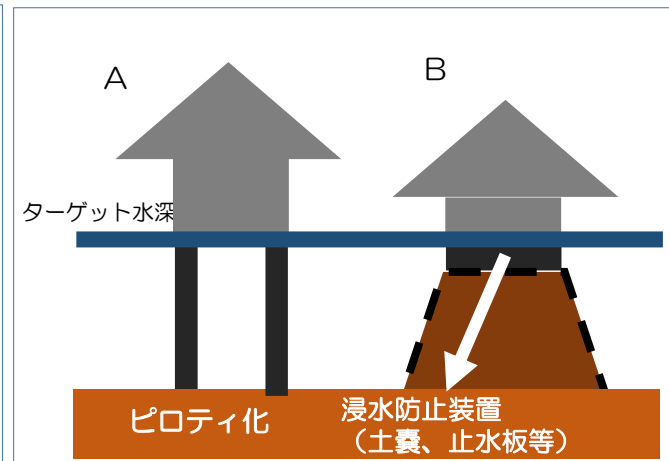
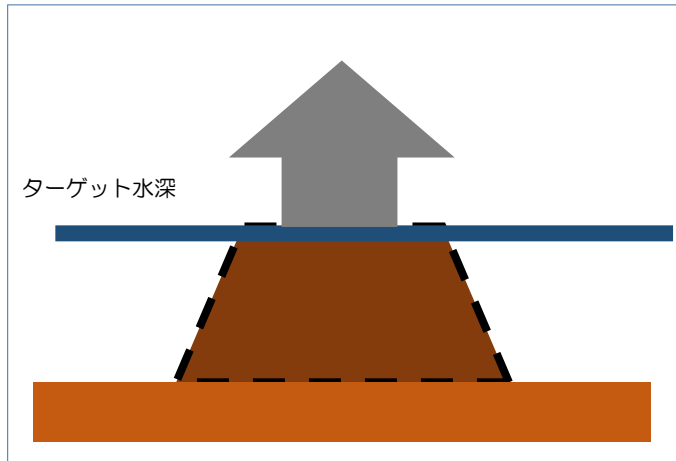
高台とする場所の地盤を、ターゲット水深まで盛り上げる。  
（効果）その上の構造物は浸水被害から解放される。

### 【構造物対応 浸水防止（+地盤上げ）】

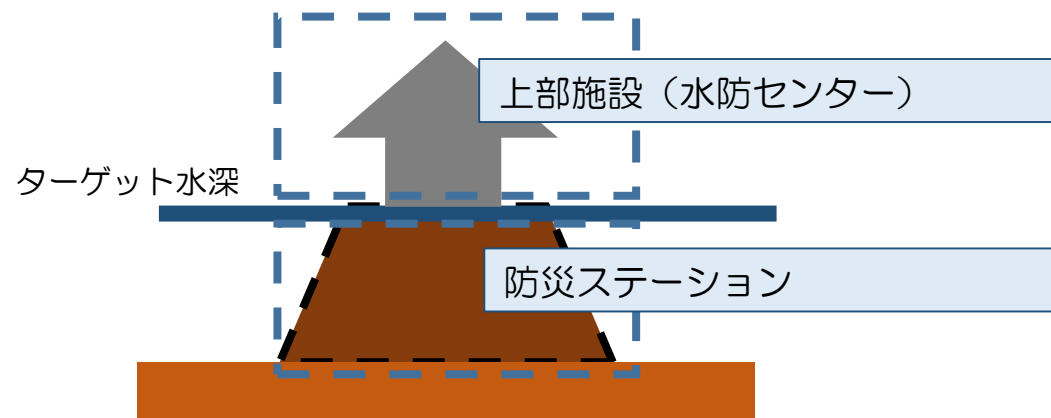
A ターゲット水深にあわせ建物をピロティ化する。  
B ターゲット水深まである程度地盤を上げ、その余は浸水防止装置を設置する。  
（効果）少なくとも建物への浸水被害をなくせる。

### 【市民への協力を求める方法】

新しく家等を建設する場合、ターゲット水深より高い位置に空間を作るよう規制する。  
（効果）垂直避難ができるようになる。



今回は【全地盤上げ】による河川防災ステーションを整備



# 河川防災ステーションの上部施設整備について

上部施設（水防センター）については、以下のような必要とされる機能等を今後検討していく。

- ① 地域の賑わいづくりに資する、レクリエーション・コミュニティ活動等の拠点としての機能

（例）淀川河川敷を生かした環境・水災害などの学習の場、地域住民（障害者、高齢者、若者等）の交流の場、市民の健康増進のためのレクリエーションの場 等

- ② 水害時に、広域避難が困難な障害者や高齢者等の避難行動要支援者が避難できる機能

等

## 地域の賑わいに資すると考えられる他事例の紹介



生き物の水槽  
（神奈川県：多摩川）



災害対策車見学  
（鳥取県：国府川）



歴史講習会  
（徳島県：吉野川）



フラワーアレンジメント教室  
（福島県：阿賀野川）



エクササイズ  
（岐阜県：長良川） 等

出典：国土交通省HP

## 今後について

上部施設（水防センター）の具体的な機能や利活用方法等については、今後、地元住民の方のご意見を聴く機会を設けるなど、皆さんとともに検討を進めていきます。